

目片千恵 ガラス展 水彩色の恋心  
2017年7月8日(土) ~ 16日(日) 会期中無休



料金後納  
ゆうメール

目片千恵 ガラス展 水彩色の恋心  
2017年7月8日(土) ~ 16日(日) 会期中無休  
営業時間 11時 ~ 18時 作家在廊日 7月8日(土)

水彩絵の具を筆洗に浸して、ぱっと水の中に広がる淡い色。そんな瞬間を捉えたガラスのうつわ。ほのかな挿し色が心に留まります。クリアなガラスに微かな色をつけた夏の新作です。

滋賀県大津市の目片千恵さん。ガラスの宙吹きは金沢の工房に通い、仕上げの削り加工をご自宅の工房で行っています。弊店の展示会は2回目。先回は12月に冬のガラスをテーマにしましたが、今展は夏真っ盛りの開催となりました。

目片さんの器の特徴は、淡色ガラスの優しい色合いと、女性らしい流麗なフォルムです。ガラスを宙吹きした後、その形を削り出し、再び電気炉に戻して表面を和らげることで、光を拡散する柔らかな色調が生まれます。硬質なガラスでありながら、優しく曖昧な儂さ。まるで瀟洒な宝飾品を見るような魅惑を引き起こすのです。

今回も定番の削りガラスと共に、クリアガラスに挿し色を施した新作が並びます。夏の食卓に欠かせないコップ、ボウル、プレートなどの食器をはじめ、一輪挿し、蓋物などエレガントな小道具も出品されます。

水彩画のごとく淡き色のガラス。うたかたの夏の思い出。いやこれから芽生える恋心か。どうぞ皆さまの心の中にも、ほのかな色をひと筆、描いてみてください。

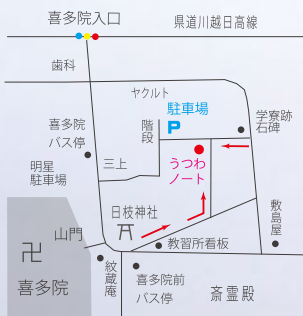
店主

#### 目片千恵プロフィール

1972年 東京に生まれ  
2001年 能登島ガラス工房 吹きガラス講座修了  
牧山ガラス工房(石川県)にて製作を始める  
2017年 現在、滋賀県大津市にて制作

#### ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6  
TEL 049-298-8715  
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分  
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分  
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ~ [喜多院前]  
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ~ [喜多院]  
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5~8番)

